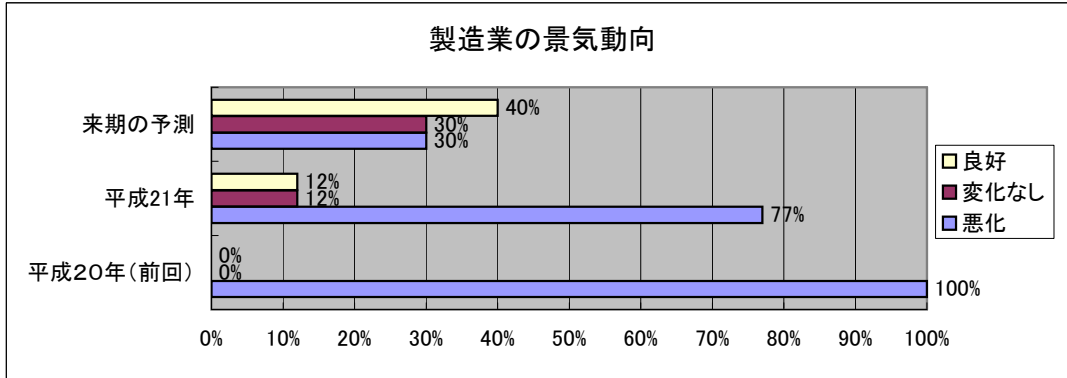


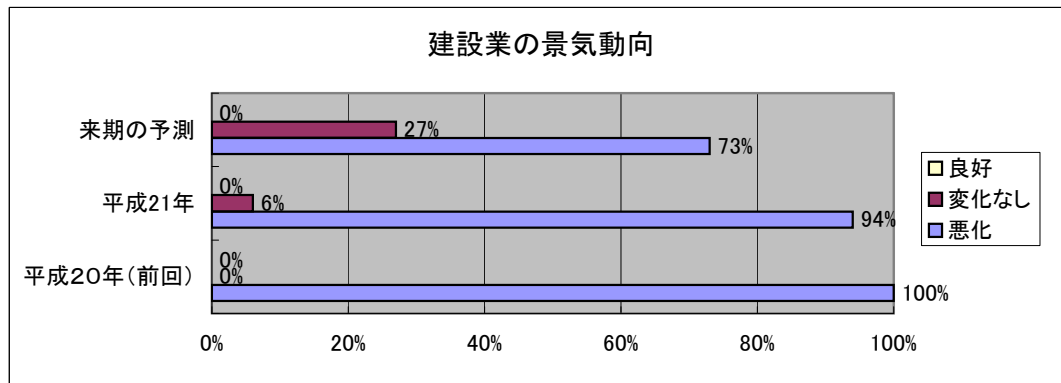
調査2

□業種別景気動向



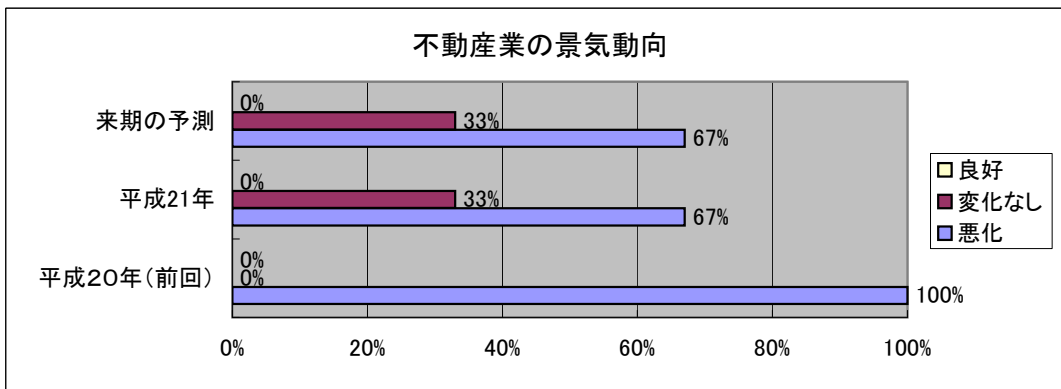
①製造業

前は全企業が「悪化」と回答したのに対し、今回、「悪化」は77%になっている。「良好」が12%と若干改善している企業があることがわかる。



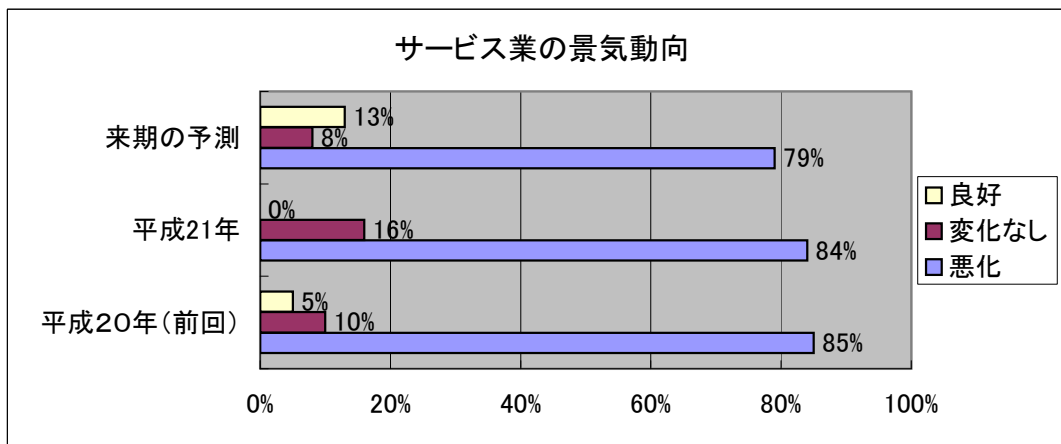
②建設業

「良好」が前回及び今回もなく、業界として依然厳しい状況にある。来期の見通しも依然厳しい。



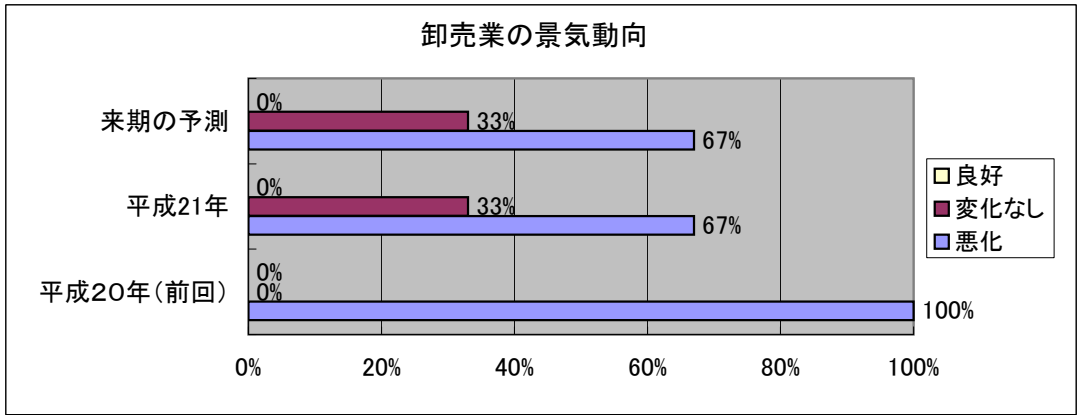
③不動産業

「変化なし」が今回33%であるが、前回は100%「悪化」であることから、依然業界的には厳しい状況である。来期の景気が「良好」になるという企業はない。

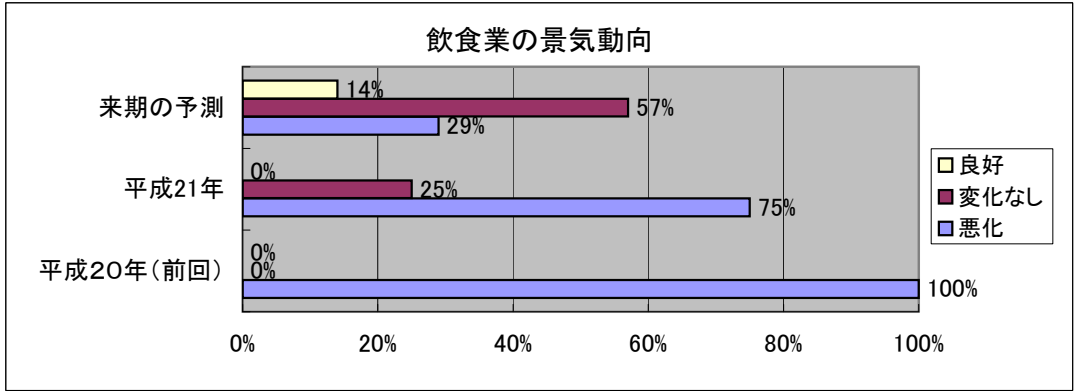


④サービス業

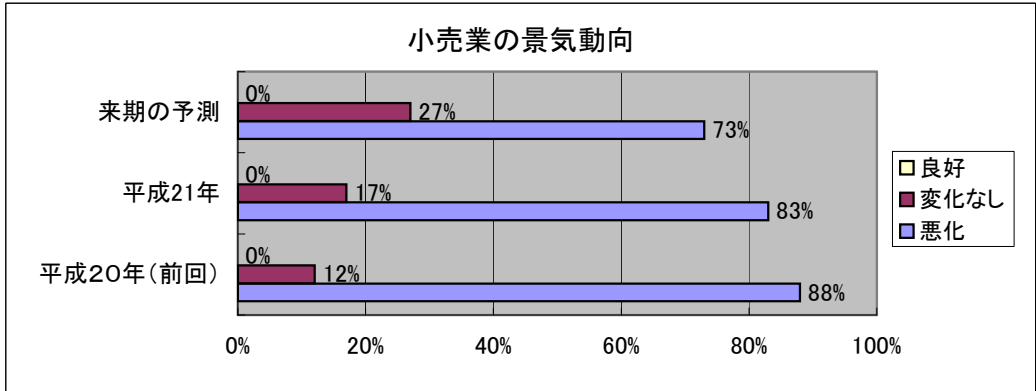
前回「悪化」が85%で今回は84%、来期の予測も79%と高い。前は「良好」が5%あったが今回は「良好」がなく、厳しい状況であった。来期予測では「良好」になるが13%あった。



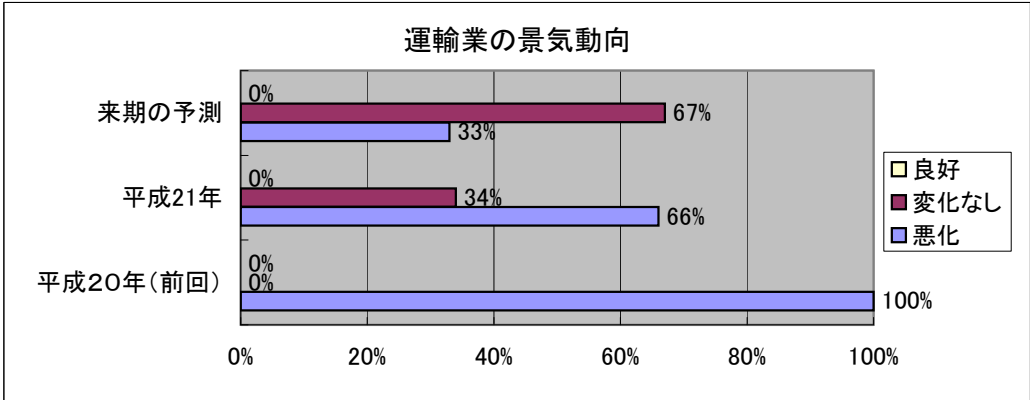
⑤卸売業
「変化なし」が今回33%であるが、前回は100%「悪化」であることから、依然業界的には厳しい状況である。来期の予測も厳しい。



⑥飲食業
前回100%「悪化」であったが、今回は「変化なし」が25%、来期予測で「良好」が14%とあり、やや景気回復の兆しが見られる。



⑦小売業
全体的に景気の回復基調には至っていない。前回と同様な景気動向になっている。物価下落と消費低迷の影響が大きいと思われる。



⑧運輸業
「良好」がないが、「悪化」は減少傾向にある。